

# 苫小牧市

所属議員

牧田俊之

## 産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応	
<b>具体的取組項目</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンリサイクルに係る技術調査事業の実証試験への移行</li> <li>・キーテクノロジーのメタネーション等の実証試験誘致</li> <li>・ZEH〔ネットゼロエネルギーハウス〕の推進</li> </ul>	
<b>前回まで 活動状況</b>	① 3月議会代表質問	
<b>今回 具体的活動</b>	<p>【6月議会】 一般質問</p> <p>(1) <b>再生可能エネルギー基本戦略について</b>                      苫小牧市のCO2排出量は500万トン、2050年には人口減少と省エネ推進により450万トン（推計）                      脱炭素シナリオ①再エネ拡大②CCUS・カーボンリサイクル導入③水素・アンモニア用途拡大                      質問：再エネで230万トン削減：太陽光発電799MWと風力発電838MW：広さと基数は？                      回答：太陽光設置面積：1,740Ha 風力発電15MWを56基：4万Ha程度                      質問：太陽光パネル及び大型風力発電設備、国内生産はあるのか？                      回答：一部の企業が国内で生産していますが、大部分が海外製となっている。                      質問：海外製品へ税金を投入するよりも水素の活用も検討すべき。                      回答：費用が高額、需要先の確保に課題がある。利活用に向けた取組の具体化を検討する。                      要望：再エネもいいが国内生産が無いのであればカーボンリサイクルへの取組をお願いする。</p> <p>(2) <b>脱炭素先行地域選定について</b>                      質問：選考されなかった要因について                      回答：対象とする施設の数や種類、民間企業との連携という部分が不足していた。                      質問：競争は厳しい。次なる手も必要となる。                      回答：「重点対策加速化事業」というのがある。補助率は下がるが、幅広く活用できる。                      質問：メニューに〔住宅・建築物の省エネ性能等の向上〕ZEH関係がある、北海道の地域性から冬季暖房での灯油・LNGの消費が多い、ぜひ取組を進めてほしい。                      回答：苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会の民生部門専門部会の中で検討議案として取り上げた。                      要望：第2回目の部会の中で補助制度について意見交換したいと考えている。</p>	 
<b>今後の活動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロエネルギーハウス〔ZEH〕取組への働きかけ</li> <li>EVとの親和性など提案。</li> <li>・水素、カーボンリサイクル取組働きかけ</li> <li>・令和5年度政策要望検討</li> </ul>	<b>トピックス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 第19回苫小牧市長選挙〔6/19 投開票〕 現職5期目当選〔投票率 33.99%得票率 61.5%〕</li> <li>② トヨタ自動車北海道創業30周年記念美術展開催〔7/16～8/28〕「芸術の都ウィーンとデザインの潮流」</li> <li>③ 〔リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2022 とまこまい〕開催 7/17 出光カルチャーパーク</li> </ul>